

**日本総研・東京大学大学院工学系研究科「次世代社会システムのための
社会技術の創成」社会連携講座 共催シンポジウム ご案内**

『知識から価値を生み出す人材創出法』

近年、AIやIoTなどによってビジネス環境は大きく変化しており、革新的新事業を開発する人材へのニーズがこれまで以上に高まってきています。しかし、人材育成は大学も企業も『知識』提供型がいまだに主流となっており、新事業立ち上げを担う人材の育成には、『価値』ある発想・行動を引き起こす基になる素養を伸ばすという着眼が必要となります。

そこで、今般、日本総合研究所では、東京大学大学院工学系研究科「次世代社会システムのための社会技術の創成」社会連携講座と共同で、『知識から価値を生み出す人材創出法』をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、AI時代に求められる創造的人材像を提示し、従来経験論で議論されることが多かった脳と創造性の関係を整理して、最新の脳科学の手法を取り入れた「創造的な発想・行動を引き起こす人材開発の方法」を提言いたします。多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

■開催概要

日時 2017年3月16日(木) 14:00~17:00 (開場13:30)

会場 東京大学本郷キャンパス

工学部 2号館 1階 213大講堂(右記地図)
(地下鉄 南北線「東大前」駅 徒歩10分 ほか)

定員 250名(入場無料・事前登録制)

申込 弊社ホームページよりお申込みください

<https://www.jri.co.jp/seminar/>

申込締切 2017年3月10日(金)17:00

(会場の都合上、定員に達し次第締め切らせて頂きます)



■プログラム

14:00 開会挨拶 瀧崎 正弘 (株式会社日本総合研究所 代表取締役社長)

<第一部>

14:10 基調講演 「アブダクションのすすめ」
中尾 政之 氏 (東京大学 教授)

14:40 基調講演 「創造性を高めるための脳科学的アプローチ」
上田 一貴 氏 (東京大学 特任講師)

15:10 講演 「新事業創出に必要な5つの素養基盤と人材創出のトレーニング手法」
木通 秀樹(株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト)

15:40 休憩

<第二部>

15:50 パネルディスカッション

<パネリスト> 中尾 政之 氏 (東京大学 教授)
上田 一貴 氏 (東京大学 特任講師)
中川 聡 氏 (トライポッド・デザイン株式会社 代表取締役)
西村 実 氏 (株式会社エンバイオ・ホールディングス 代表取締役)

<コーディネーター> 井熊 均 (株式会社日本総合研究所 常務執行役員創発戦略センター所長)

17:00 閉会

■お問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シンポジウム事務局

担当:前嶋・劉 TEL: 03-6833-6565 E-mail: 100860-JRI-TokyoUnivSympo@ml.jri.co.jp

〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目18番1号 大崎フォレストビルディング

パネリスト プロフィール

中尾 政之（なかお まさゆき）氏 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授



東京大学大学院工学系研究科修了。日立金属株式会社に入社し、開発・設計・生産まで幅広く従事。その後、東京大学でナノ・マイクロ加工等を研究。NPO法人「失敗学会」を立ち上げ、現在副会長。企業の生産活動に伴う事故・失敗の原因を解明する「失敗学」を研究。発想力を重視した技術開発、事業開発で製造業を中心に幅広い企業のアドバイザーを担う。東京大学において、長年に亘り創造性を発揮する人材の傾向分析を行い、育成に活かすとともに、教育システムの課題解決に取り組む。著書に、「創造はシステムである」、「創造設計の技法」等多数。日本テレビの「世界一受けたい授業」にも出演し、注目を集めている。

上田 一貴（うえだ かずたか）氏 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 特任講師



広島大学大学院生物圏科学研究科修了（博士（学術））。東京大学先端科学技術研究センターを経て現在に至る。専門は認知神経科学。人材育成技術の基礎となる人間の感性や創造性などの高次認知機能をテーマに、専門である認知心理学、神経科学の融合領域の新たな理論、方法論を構築。近年では、美的感性の脳内表現を活用した製品のデザインイノベーション分野でも日本企業へのアドバイザーを担う。国内外学術誌、国際会議での発表多数。北米神経科学会、日本臨床神経生理学会、ヒューマンインタフェース学会など各会員。

中川 聡（なかがわ さとし）氏 トライポッド・デザイン株式会社 代表取締役



1987年よりリード・ユーザーを駆使した独自のユニバーサルデザインの開発理論や評価法を構築し、広く内外の企業の製品企画やデザイン開発に携わる。2005年からユーザーの行動心理に注目したデザインの開発プロセスを研究する中で、購買や使用動機につながる「期待感」に着目。2007年に「EXPECTOLOGY（期待学）」という予測感性デザインの考え方を確立し、新たなデザイン理論として発表。2010年から企業参加型の研究会「期待学研究会」を主宰。2015年よりセンサとセンシングの新しい概念「SUPER SENSING」を構築し、活動を進めている。

西村 実（にしむらみのる）氏 株式会社エンバイオ・ホールディングス 代表取締役



1981年、大阪大学工学部卒業。同年化学会社入社。1984年、理化学研究所派遣研究員。1990年、日本総合研究所に移籍。バイオレメディエーション（土壌微生物を活用した土壌汚染浄化技術）との出会いをきっかけに、バイオテクノロジーを応用した環境ビジネスのインキュベーションに取り組む。2001年、現エンバイオ・ホールディングスに移籍。土壌汚染問題のトータルソリューションを提供することを目指し、国内外に4つの事業会社をグループ企業として設立。2008年に同社代表取締役。2014年に同社を東証マザーズに上場。アジアをターゲットに日本発の環境ソリューションを展開するグローバル企業を目指して奮闘中。

コーディネーター

井熊 均（いくまひとし）

株式会社日本総合研究所 常務執行役員 創発戦略センター所長



1983年早稲田大学大学院理工学研究科修了。同年三菱重工業株式会社、1990年株式会社日本総合研究所、2006年執行役員、2014年から現職。環境・エネルギー分野でのベンチャービジネス、公共分野におけるPFIなどの事業、中国・東南アジアにおけるスマートシティ事業の立ち上げなどに関わり、新たな事業スキームを提案。公共団体、民間企業に対するアドバイスを実施。公共政策、環境、エネルギー、農業などの分野で60冊を超える書籍を刊行するとともに政策提言を行う。